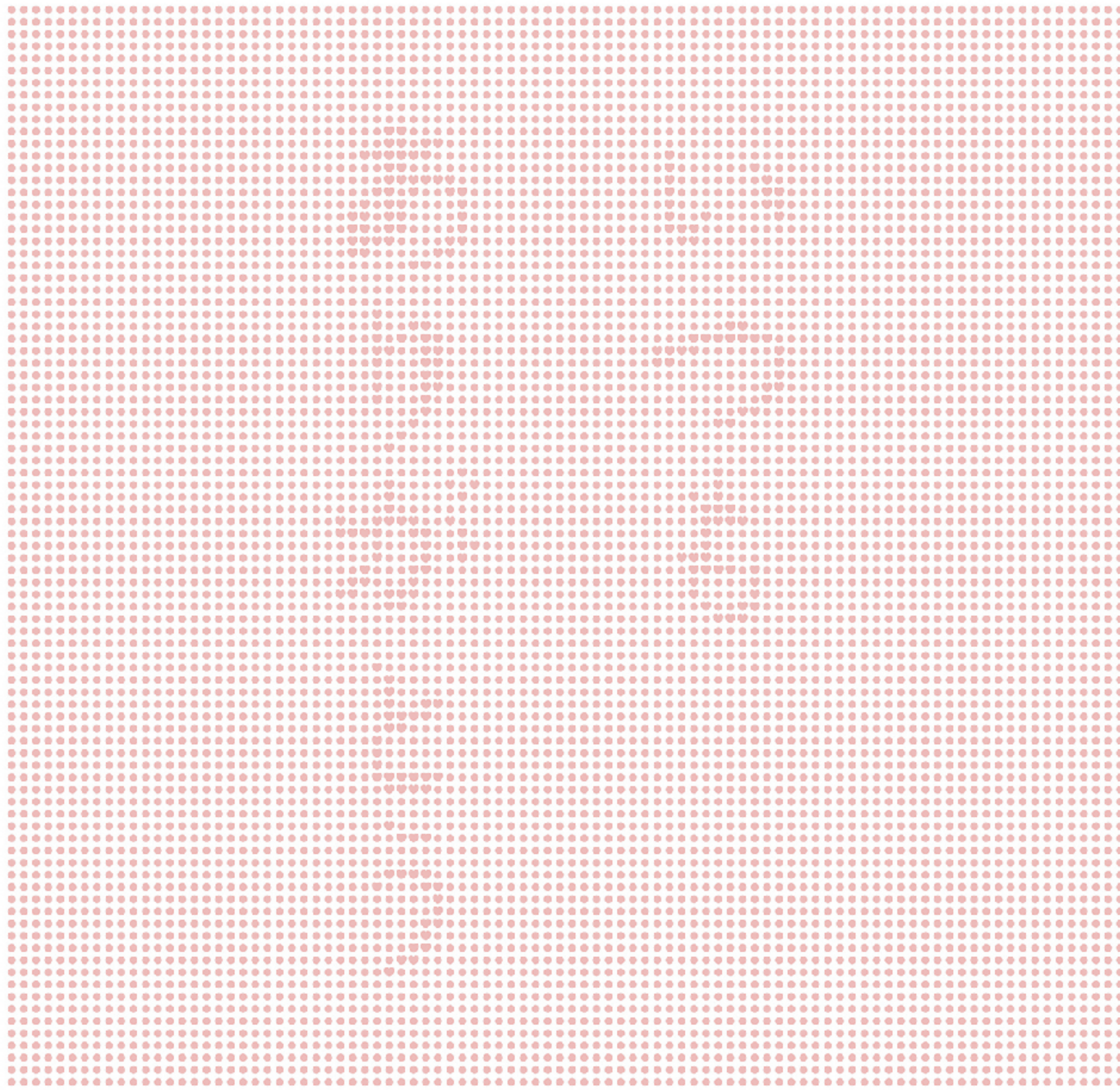


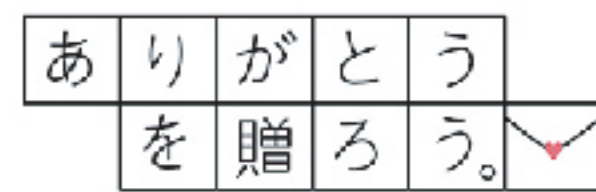
# 感謝の言葉が浮かび上がる新聞広告



大切なことって、近いと見えなくなるね。



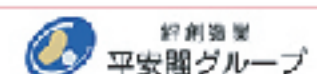
たとえば家族や友人、会社の同僚など。  
 いつも近くにいるから見失いがらだけど、誰かがあなたのために動いてくれています。  
 考えてみれば、そこにはたくさんの感謝があるのですね。  
 そんな感謝を見つけたとき「いつもありがとう」と伝えてみませんか？  
 「ありがとうを贈ろう。」キャンペーンは、今年で11年目。  
 感謝を伝えることで、何気ない毎日がうれしい毎日になると思うのです。  
 あなたが見つけた感謝を、メッセージにしてお寄せください。



人と人を「ありがとう」で結びたい。  
感謝の心をセレンニエでつなぐ平安閣グループの願いです。

**募集内容:**大切な人に贈る「ありがとう」のメッセージ(50文字以上300文字程度)  
**募集期間:**2021年8月25日(水)まで  
封入のしるは先「株式会社平安閣「ありがとうを贈ろう。」事務局 〒462-0801 名古屋市中区北千通1-21 TEL:052-916-1295 受付時間10:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除く ※学校や団体での応募については、ご連絡のあつた上つたまじも事務局におお気願ひの問い合わせください。

子どもたちのこころ豊かな成長を願ひ、募集作品から100作品を選び「ありがとうの本2021-2022」を制作。愛知県内の小学生をはじめ希望者に無料配布します。



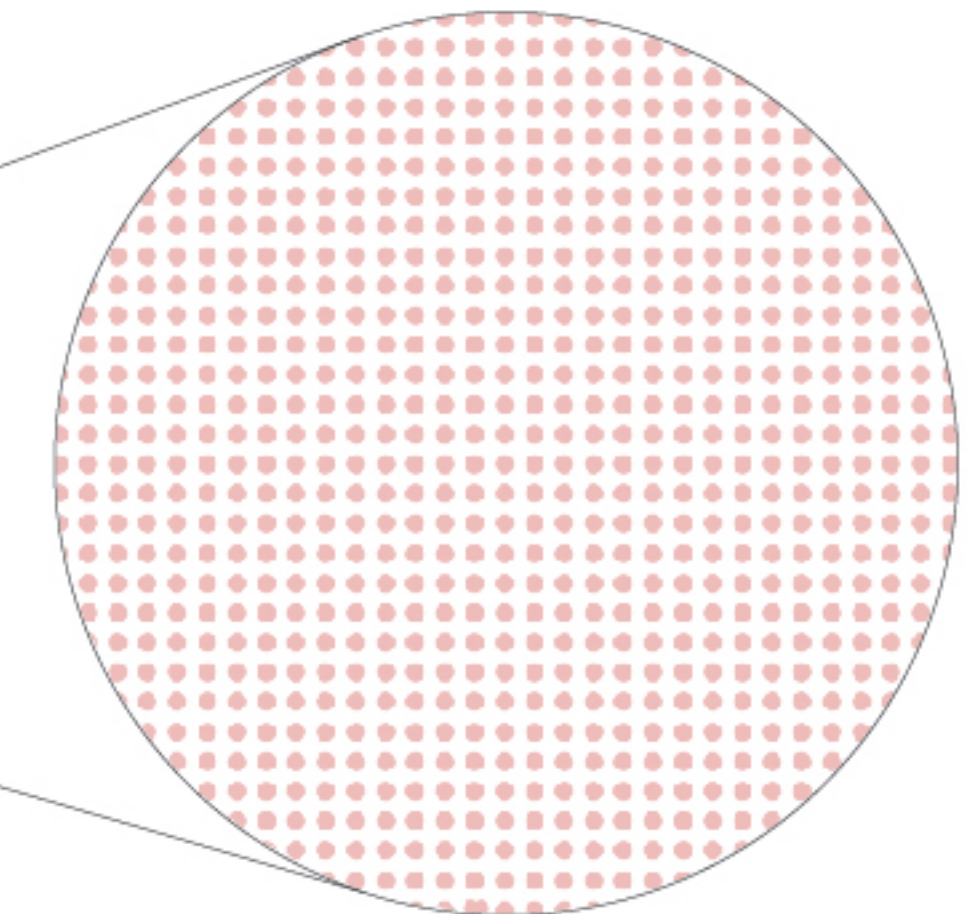
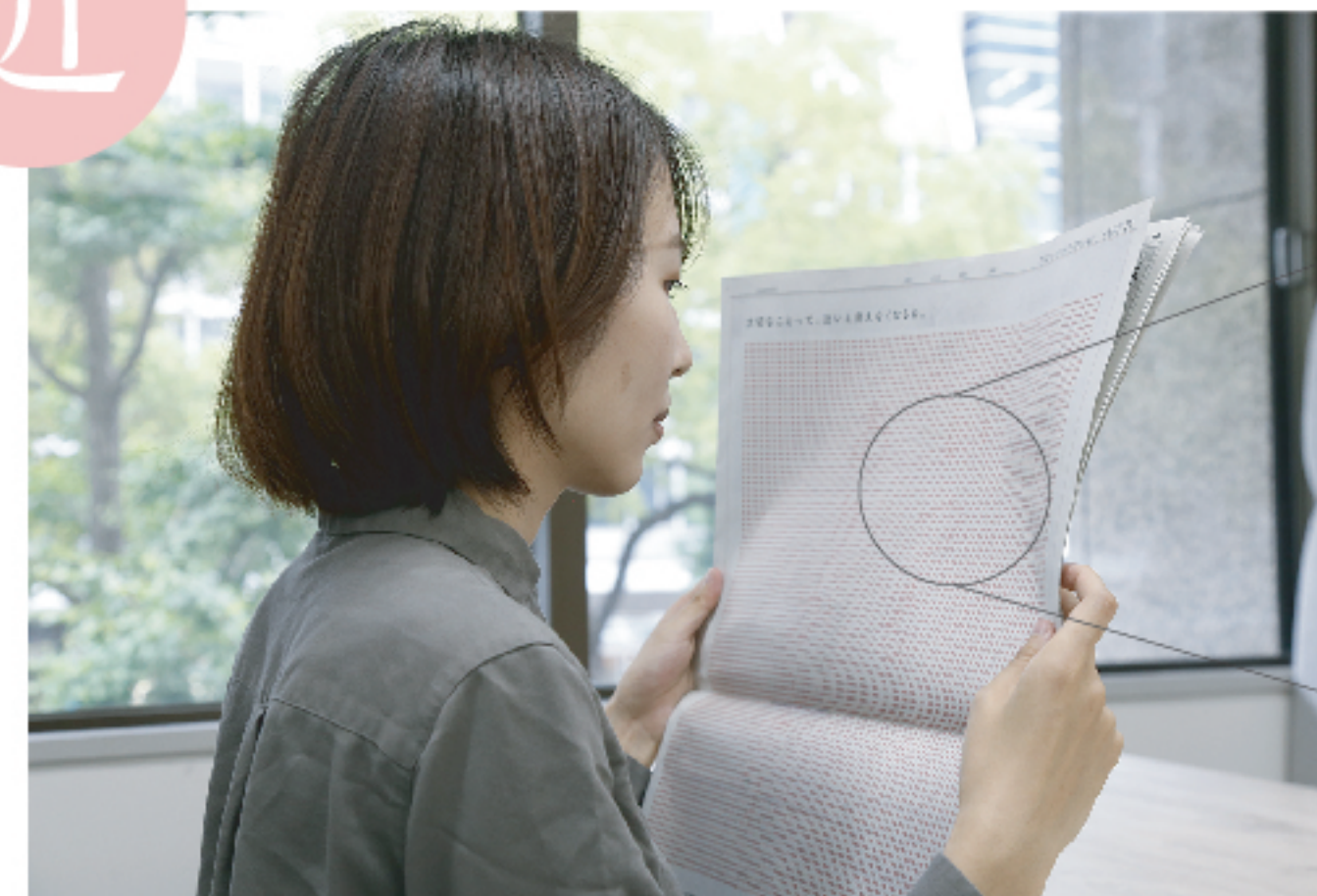
## 【企画説明】

冠婚葬祭の会社として、感謝を伝える大切さを広めたい。その思いから始まった「ありがとうを、贈ろう。キャンペーン」です。コロナ禍で気持ちが不安になるなかで、身近な人に感謝を伝える大切さに気付いてもらうことを狙いました。そのために「近いと大切なことが見えなくなる」という普遍的なテーマを、錯視のギミックで表現。ドットで描かれた紙面ですが、よく見ると「いつもありがとう」の部分がハートのドットになっています。

## 【錯視】

ドットで構成された色面の中に、「いつもありがとう」という言葉の部分のみハートのドットで構成しています。そうすることによって、遠近を変えることで文字が浮かび上がってくるようにしています。

近



遠



文字が見える

